

2023~2024 SHIKI WEEKLY

国際ロータリー 第2570地区 第2グループ

き木ロータリークラブ



2023-24年度 国際ロータリー 会 長 ゴードン R. マッキナリー 「世界に希望を生み出そう」 2023-24年度 第2570地区 ガバナー 高丹 秀篤 「希望を語ろう -We are Rotary, together-」 2023-24年度 志木ロータリークラブ 会 長 市之瀬 正靖 「調和」

第2377回 移動例会

2023-10-7

十文字学園女子大学 公開講座

定員 | 00名

参加費無料子どもの夢と元気を育む (先者順)子どもの夢と元気を育む 十十十式の屋得高いくり

子どもたちが安心して暮らし、学び、育つためには、家庭や学校だけでなく、地域の居場所が必要ではないでしょうか。「子ども夢パーク」や公設民営の「フリースペースえん」などの事例紹介をもとに、安心してありのままの自分で過ごせる第三の居場所について考える機会とします。

[□ 時] 10月7日(土) 13:30~15:30

会場] 十文字学園女子大学 9417教室

【講師】西野博之氏(認定NPO法人フリースペースたまりば理事長)

【コーディネーター】 佐藤 陽 (人間福祉学科教授、ボランティアセンター長)

【 共 催 】 人間福祉学科、ボランティアセンター、新座市内大学公開講座



西野 博之氏

川崎市「子ども夢パーク・フリースペースえん」他、各事業総合アドバイザー。1986年より不登校児童・生徒や高校中退した若者の居場所づくりにかかわる。1991年、川崎市高津区に「フリースペースたまりば」を開設。不登校児童・生徒やひきこもり傾向にある若者たち、さまざまな障がいのある人たちとともに地域で育ちあう場を続けている。2003年7月にオープンした川崎市子ども夢パーク内に、川崎市の委託により公設民営の不登校児童・生徒の居場所「フリースペースえん」を開設、その代表を務め、2006年4月より川崎市子ども夢パークの所長に就任。2021年3月までの15年間所長を務めた。神奈川大学非常勤講師。精神保健福祉士。著書に『居場所のちから一生きてるだけですごいんだ』(教育史料出版会)、『西野流「ゆる親」のすすめ<トフ機までのお守りBOOKー「正しい母さん・父さん」を頑張らない。』、『西野流「ゆる親」のすすめ<下>10歳からの見守りBOOKーだいじょうぶのタネをまこう。』(ジャパンマシニスト社)等多数。

「0月は「地域社会の経済発展月間」(米山月間」です

「会長挨拶」 会長 市之瀨正靖

十文字学園女子大学への職場訪問に多くの 会員の皆様にご参加頂きありがとうございま す。大村委員長と十文字学園女子大学星野敦 子副学長とのご縁で、職場訪問の形式ではあ りますが大学の公開講座を利用させて頂くこ とになりました。「居場所」とは、安心できる 所・認めてもらえる所と言う講師の西野博之 氏の言霊が心を離れません。以上会長挨拶と します。

講演

「子どもの夢と元気を育む 地域の居場所づくり」

認定 NPO 法人フリースペースたまりば 理事長 西野博之様



子どもたちは、いま…

「フリースペースたまりば」は1991年、学校や家庭・地域の中に自分の「居場所」を見いだせない子どもや若者たちが集う「学校外の育ちと学びの場」としてはじまりました。

あれから 30 年が経ちますが、不登校・ひき こもり、子ども・若者の自死、子どもの貧困 など、子どもたちを取り巻く問題はなくなる ことがありません。

長年子どもたちと関わる中で感じているのは、子どもたちの自信のなさです。「ぼくバカだもん」「わたしダメだもん」…そう口にする子どもたちにたくさん出会ってきました。自己肯定感の低さが日本の子どもたちの特徴であり、私たちがきちんと向き合わなければならない大きな課題でもあります。

私たちがめざす「居場所」のありかたとは… いま大人たちは、子どもに失敗させまいと 先回りしてレールを敷き、子どもたちがやっ てみたいことに挑戦する機会を奪っています。

つねに他者からの評価にさらされる子ども たちは、自分の頭で考え、自分でものごとを 決定する経験がとても不足しています。

私たちが大事にしているのは「やってみたいことにチャレンジする機会」と「安心して失敗できる環境づくり」です。

そのためには、なにが「できる」とか「する」(do) よりも、「ある・存在する」(be) に光をあてることが必要です。

目先のことにとらわれずに、長いスパンで子どもの育ちを考え、寄り添い続けるまなざしが求められています。そのまなざしの中で、一人ひとりが他者とのつながりを実感し、いろいろな体験を重ね、

……自分はここにいていい。ひとりじゃない。 ……自分には生きている価値がある。と思え る、自己肯定感や自尊感情を育むことが、と ても大切だと考えています。

私が「大切な存在」だと思えたとき、「大切な誰か」とつながっていく。それは子ども・若者だけでなく、私たちの社会全体に必要なことではないでしょうか。





(資料·写真提供 十文字学園女子大学様)

志 木ロータリークラブ 会長/市之瀬正靖 副会長/金剛光裕 幹事/上野剛彦 会報委員会 委員長/塩野 章 副委員長/影山和良